

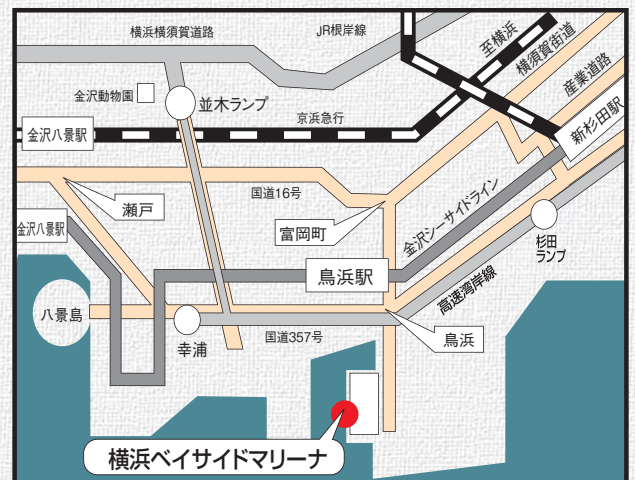
稼働中のマリーナで、天然木材デッキを採用したリニューアル

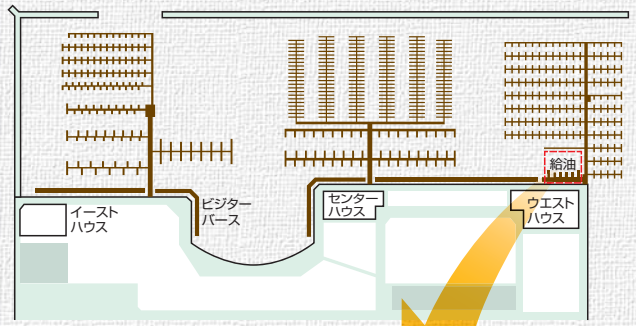
横浜ベイサイドマリーナ給油栈橋



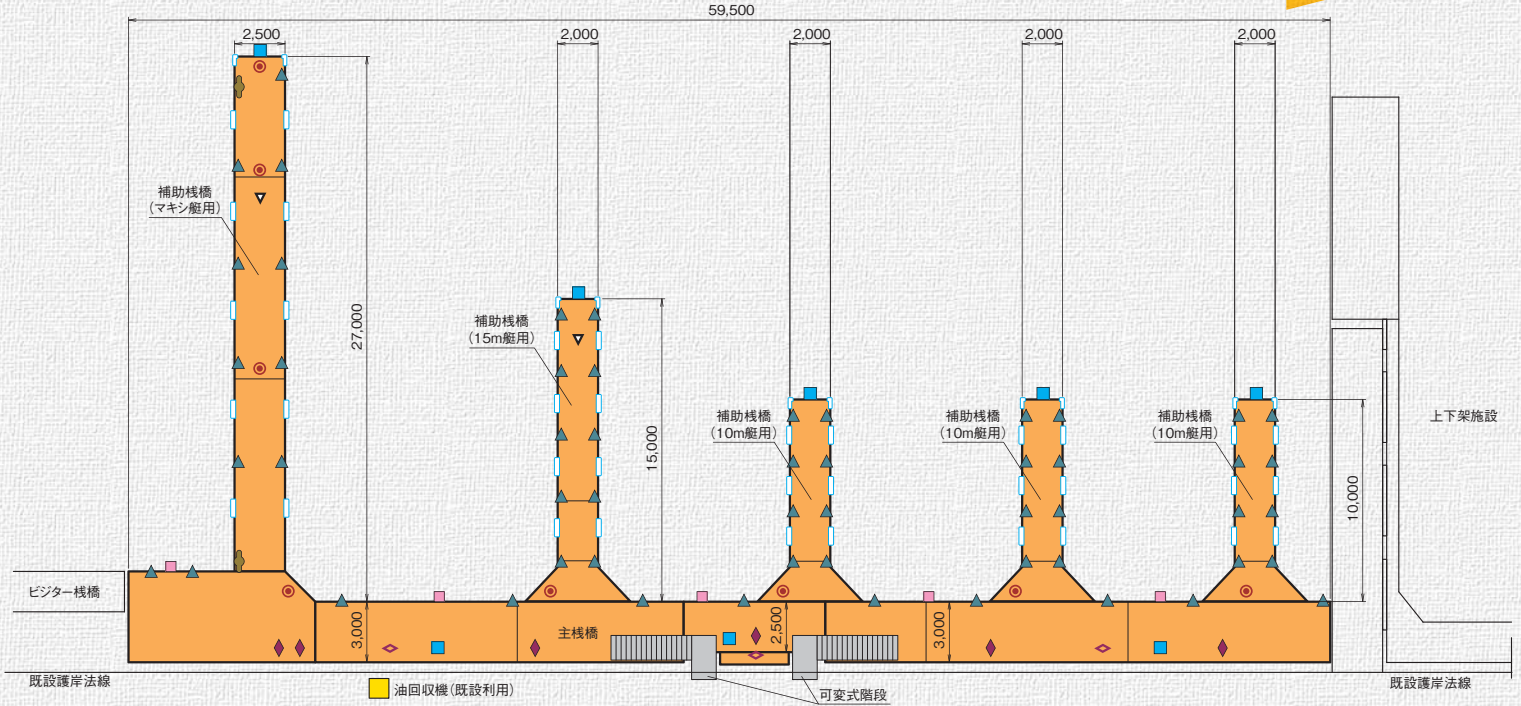
開業以来17年が経過し、浮栈橋の老朽化による腐食と乾舷低下が目立つようになり、また大型化するボートへの対応のために給油設備と共にリニューアルされました。栈橋計画は既設杭を活用したのですが、バースの拡幅による変則的な杭配置にも栈橋の性能・機能を損ねることなく効率的に設置されています。

- 所在地** 神奈川県横浜市金沢区
- 用途** プレジャーボート用海上係留施設
- 係留隻数** 小型艇8隻、大型艇2隻
- 浮栈橋係留** 鋼管杭による係留(既存杭を使用)
- 係船方法** 補助栈橋(ダブルバース)
- 付帯設備** 給油設備、水道設備、可変式階段
ポンプアヘッド、救命ラダー
- 供用開始** 平成25年5月
- 事業者** 横浜ベイサイドマリーナ株式会社





- パイルガイド □ 救命ラダー ■ 給水栓 ◆ ノズルスタンド ● クロスビット
- 渡橋 □ ドックフェンダー ▼ ポンプアヘッド ◆ アイランドプリンター ▲ クリート



浮栈橋(ピアステージⅡ)、天然木材(ハードウッド)デッキ仕様

浮栈橋は用途に合わせてデッキ材、フロートタイプ等を選択可能なピアステージⅡが採用されました。主栈橋は幅3.0m、補助栈橋は2.0mと2.5mの栈橋ユニットです。栈橋デッキ(床板)は、安全性の観点から人工木材に比べ静電気を発生しにくい天然木材(ハードウッド)を採用しています。さらに静電気・作業性に配慮し、デッキはパレット型にして表面の固定金属リベットを極力少なくし、安全性の向上を図っています。



内杭式パイルガイド

パイルガイドは既存の杭を使用し内杭式を採用。ローラーは栈橋内部に収納し作業の安全性と効率の向上を図っています。栈橋の内側に杭を配置することにより、栈橋の側面を最大限活用できます。

三角コーナー一体型補助栈橋(フィンガー)

デッキ面の凹凸を排除した三角コーナー一体型の補助栈橋です。軽量で耐候性に優れ、また充分な強度による安心感と、船への乗降に十分なスペースを確保しています。



可変式階段

干満差にスムーズに追従します。既存の可変式階段を利用しています。



ポンプアヘッド (汚水処理ポンプ)

船のフォールディングタンク内の汚水を給油感覚で処理できる衛生的なマリーナ機器です。環境を重視するマリーナには不可欠な設備です。

(PSE適合商品)



救命ラダー

作業者の安全確保のために給油栈橋にも設置されています。収納式で貝類の付着もなく、船舶の係留にも邪魔になりません。